

2023年度 長谷工グループCSR行動計画

4つのCSR 取り組みテーマ	マテリアリティ (重要課題)	創業100周年(2037年) ありたい姿	2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目	指標 (KPI) / 目標数値	実績	
住んでいたい 空間 様々なひとが安心して暮らし、成長し、それぞれのスタイルで生き活きと過ごす空間をつくっていきま す。保育、教育、介護、福祉など、暮らしの質を上げていくための事業を推進するとともに、更なる安全・安心と環境配慮を暮らしのスタンダードにしてい きます。 ■ 関連するSDGs目標 	持続可能な暮らしとまちづくり	1 災害に強い暮らしとまちづくり に貢献している	①マンションにおけるハード・ソフトの災害対策推進	・災害に強いマンション提案仕様(新築)ルネ物件採用100%	100%	
		2 保育、教育、介護、福祉をはじめ、暮らしに関わる様々なサービスへ容易にアクセスできるまちづくりに貢献している	①住宅を核とした複合開発の推進	・取り組み件数	4件(新規・継続)推進中	
		3 地方活性化を推進している	①地方での事業展開推進	・展開エリア数	7エリア	
		4 地域の社会課題解決モデルを広く社会に提示している	①地域活性化への貢献	・事業推進件数	6件	
		5 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	①多様なライフスタイルに応える建物・サービスの提供 ②超高齢社会に対応する高齢者施設・住宅・介護サービスの開発・提供等 ③マンション再生事業の推進 ④再開発事業の推進	・事業開発件数 ・高齢者施設・住宅・サービス事業化件数 ・建替施工実績(累計) ・事業協力した再開発実績(累計)	6件(新規・継続)推進中 2件 42件(竣工済分) 17件(竣工済分)	
	製品(サービス)の安全	6 安全・安心・快適な建物とサービスの供給を徹底して追求し、長寿命な住まいを提供している	①品質の維持・向上 ②ICTを活用した防犯・見守りシステムの導入	・ISO9001外部審査指摘件数ゼロ ・長谷工プレミアムアフターサービス採用戸数 ・BIM&LIM(住まい情報と暮らし情報)プラットフォームの確立に向けた検証継続	0件 東:8,692戸(累計86,924戸) 西:2,880戸(累計36,049戸) 検証継続	
		7 新たな住まいと暮らしの価値を提供し、子どもからシニアまで多様なライフスタイルを支えている	①DX具現化に向けた取り組み	・取り組み件数	44案件	
	技術開発	8 住まいと暮らしの環境技術をリードする企業になっている	①マンション由来の環境負荷低減を実現する技術の開発・採用 ②災害対策技術の開発	・環境負荷低減技術開発件数 ・周辺環境配慮技術開発件数 【長谷工コーポレーション】ISO14001目標 ・環境配慮設計採用率 ・災害対策技術開発件数(地震(免震・制振・耐震)・台風等)	3件完了、8件継続中 1件完了 東:98.0%、西:99.3% 2件完了、3件継続中	
		9 地域コミュニティ形成に貢献している	①地域やマンション住民同士の交流によるコミュニティ形成の仕掛けづくり	・長谷工コミュニティ管理物件でのイベント開催(300戸以上総合管理物件にて年1回)	229件	
		10 災害発生時の暮らしの復旧を支援している	①復旧支援に繋がる設備の整備	・防災3点セット採用件数 -WELL UP(非常用飲料水生成システム) -かまどスツール -マンホールトイレ	43台 88台 137台	
働いていたい 場所 多様な人びとが活躍する、安全で生産性の高い職場をつくっていきます。住まいと暮らしに関わる技術とノウハウを備えた人材が、熱意溢れるチームワークの広がる職場で、協力会社とともに今と未来のまちづくりに挑戦していきま す。 ■ 関連するSDGs目標 	人的資本(ダイバーシティ&インクルージョン・人材育成)	11 多様な個性・価値観を認め合い、すべての社員がやりがいを持って、自分らしく活躍できる環境が整っている	①働き方改革の推進 ②様々な職場での女性の登用と活躍支援 ③育児・介護関連の支援制度の拡充と推進 ④障がい者と共に働く職場の実現 ⑤シニア人材の活躍に向けた支援 ⑥外国人社員が活躍できる職場環境・インフラの整備と推進	・MOS活動*の推進 *グループ全体で職場環境の改善を目指す活動 ・テレワークの推進(在宅勤務等) ・女性管理職登用の促進(前年実績以上) ・えるぼし認定取得 ・女性社員比率30%以上 【長谷工コーポレーション】 ・新卒採用における女性比率30% ・女性社員年間離職率3%以下 ・くるみん認定取得 【長谷工コーポレーション】 ・配偶者出産休暇取得率 80% ・育児休業取得率(男性) 50% ・子ども休暇取得率(男性) 50% ・障がい者雇用率2.3% ・60歳研修受講人数 ・定年再活用者数 ・体制整備	計画通り実施 継続実施 女性管理職比率10.2% 未取得 31.7% 21.6% 5.3% 未取得 64.0% 36.0% 46.7% 2.38% 139名 327名(24年3月末時点) 継続	
		12 未来の住まいと暮らしに関わる人材を育成する多様な教育を実施している	①自律的に成長・進化・挑戦し続ける人材・組織づくり 経営幹部候補の計画的な輩出 新たな戦略を実現する人材育成 ②技術・スキルの継承	・自己学習支援「長谷工ビジネスカレッジ」受講人数 ・キャリア研修の受講人数 ・経営者養成講座の受講人数 ・DXアカデミーの受講人数 ・英語教育の受講人数 ・建設キャリアアップシステム登録率 ・長谷工グループ技術教育の受講人数	2,243名 153名 120名 708名 44名 東:79%、西:72% 227名	
		13 住まいと暮らしについて、子どもから大人まで広く学べる場を提供している	①外部とのコミュニケーション強化 ②イベント等による啓蒙	・長谷工マンションミュージアム来館者数 ・イベント件数、参加人数 ・中央安全衛生委員会の開催(年1回) 【長谷工コーポレーション】 ・死亡・重大事故災害ゼロ ・労働災害発生率0.60以下 ・労働災害強度率0.01以下	4,157名 1件、757名 年1回開催	
		14 すべての職場で安全で衛生的な労働環境を実現している	①労働環境の整備・安全衛生管理体制の徹底	・グループ健康経営推進委員会の開催(年1回) ・健康経営優良法人の認定取得 ・健康診断受診率100% ・特定保健指導実施率50% ・ストレスチェック受検率100%	年1回開催 認定取得 100% 44.1% 98.2%	
		労働環境・安全衛生	15 社員一人ひとりの、心身の健康づくりを支援している	①健康経営の実践 ②従業員の心身の健康増進	・グループ健康経営推進委員会の開催(年1回) ・健康経営優良法人の認定取得 ・健康診断受診率100% ・特定保健指導実施率50% ・ストレスチェック受検率100%	年1回開催 認定取得 100% 44.1% 98.2%
			16 協力会社とともに安全で生産性の高い職場を実現している	①協力会社との連携を強化・継続推進(バリューアップ活動の継続実施) ②協力会社との連携によるDX推進・施工自動化技術の開発 ③協力会社におけるリスク対策	・バリューアップ活動報告会/各協力会社組織総会の開催(年1回) ・開発テーマ数 ・総会にて啓蒙活動を実施(年1回)	年1回開催 2件 年1回開催
	17 業務効率化・生産性向上につながる先進技術活用をリードしている		①DX推進による労働生産性向上	・業務改善施策件数	3件	

4つのCSR 取り組みテーマ	マテリアリティ (重要課題)	創業100周年(2037年) ありたい姿	2020-2024年度 長谷工グループの取り組み項目	指標 (KPI) / 目標数値	実績		
大切にしたい 風景 住まいをつくり、暮らしのサービスを提供するプロセスの環境配慮を推進します。生態系への影響に配慮し、資源・エネルギー効率の向上を追求し、協力会社とともに自然を大切に する現場・職場をつくっていきます。 ■ 関連するSDGs目標 	気候変動への対応	18 全ての事業活動において、高いエネルギー効率と再生可能エネルギー活用率を実現する	①環境マネジメントシステムの継続的管理・改善	・ISO14001外部審査指摘件数ゼロ	0件		
			②SBT目標達成に向けた削減取り組み	・SBT目標(基準年度:2020年度) [Scope1+Scope2] 2030年度 ▲42%・2050年度 ▲100% [Scope3] 2030年度 ▲13%・2050年度 ▲37%	削減取り組みを推進		
			③設計・施工段階におけるCO2の削減	【長谷工コーポレーション】ISO14001環境目標に基づく削減 ・CO2削減率10%以上(設計) ・CO2排出量削減 発生原単位8.5t-CO2/億円以下(施工活動)	東:25.2%、西:20.2%(設計) 東:8.0t-CO2/億円、西:6.6t-CO2/億円(施工活動)		
			④建設作業所・オフィス等における省エネ・節電を促進	【長谷工コーポレーション(ISO14001拠点)】ISO14001環境目標に基づく削減 ・電力使用量2022年度実績値以下	▲7.2%		
			⑤事業活動における再生可能エネルギーの積極活用	・作業所導入率100% *非化石証書購入分含む	100% *長谷工コーポレーションのみ		
			⑥ZEH事業の推進	・集合ZEH事業件数 ・自社開発物件ZEH基準対応100%	マンション:50件、戸建:3件(期中竣工分) 100%		
			19 集合住宅における木材活用において先進的な取り組みを推進している	①集合住宅への木材活用	建物主要構造部における木造採用件数(前年度以上)	0件(竣工1件あり)	
			20 全ての事業活動において、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を徹底して実践している	①建設廃棄物の削減を促進 ②オフィス・建設作業所における3R拡大	・外部表彰受賞件数 【長谷工コーポレーション】ISO14001環境目標に基づく削減 ・混合廃棄物5kg/m以下 ・混合廃棄物のリサイクル率83%以上 【長谷工コーポレーション(ISO14001拠点)】ISO14001環境目標に基づく削減 ・コピー用紙使用量2022年度印刷枚数以下	0件 東:2.2kg/m、西:2.2kg/m 東:93.4%、西:90.2% ▲6.9%	
			生物多様性への配慮	21 全ての事業活動において、周辺環境配慮を徹底している	①生物多様性保全活動(長谷工の森林) ②生物多様性への貢献	・イベント4件以上、参加者数延べ250名以上 ・外部表彰受賞件数(ABINC認証含む)	4件、200名 13件
				汚染予防・周辺環境配慮	22 全ての事業活動において、周辺環境配慮を徹底している	①環境法規制等の遵守 ②建設現場近隣住民への配慮	・土壌、水質、粉塵等に関連する法令違反ゼロ ・バリューアップ活動にて啓蒙実施
信頼される 組織風土 ステークホルダーから信頼され、ともに価値を生み出すグループであり続けるために、組織として果たすべき取り組みを着実に実践していきま す。また、グループの総合力を活かすマネジメントを強化し、住まいと暮らしの新たな社会・環境課題を的確にとらえ、事業を通じた社会貢献領域を常に開拓していきま す。	人権の尊重	23 人権尊重のための仕組みを確立し、実践している	①人権デュー・ディリジェンスの実施		・外国人技能実習生アンケートの実施率100% ・建築関連グループ各社協力会組織 ・eラーニング受講率100%	100% 99.6%	
			②ハラスメントの撲滅に向けた教育・仕組みの強化	・ハラスメント研修受講率100%	100%		
	サプライチェーン・マネジメント	24 CSR調達を実現している	①CSR調達方針のサプライチェーンへの周知徹底	・アンケート調査実施率100% (建築関連グループ各社協力会組織)	100%		
			②ガバナンス体制の強化	・取締役のうち社外取締役の占める割合1/3以上 ・取締役会実効性評価の実施	35.7% (5名/14名) 実施		
	ガバナンス・リスクマネジメント	25 品格のある会社として企業倫理・法令遵守が徹底されている	②コンプライアンスの徹底	・コンプライアンスに関する講演会受講率 ・コンプライアンス対策委員会開催 ・eラーニング受講率100%	100% 年16回開催 100%		
			③環境・社会リスクを含めたリスクマネジメントの強化	・リスク統括委員会開催(年4回) ・BCP継続運用(震災対応・感染症対策含む) ・グループ管理物件・施設被災状況確認訓練実施率100% ・内部監査カバー率100%	年4回開催 継続運用 100% 100%		
	情報開示とエンゲージメント	26 一人ひとりの社員の所属や階層に必要なCSR教育が実施され、CSR経営がなされている	①計画的なCSR教育の実施などによる社内浸透施策や理解度調査の実施	・CSR講演会開催(年1回) ・eラーニング受講率 100%	開催無し 99.6%		
			27 多様なステークホルダーから得た情報を活かし、CSR経営を実現している	①ステークホルダーエンゲージメント	・機関投資家・アナリスト・メディア・エンドユーザー等とのコミュニケーション活動	計213社との面談実施	
28 ステークホルダーに対し積極的な情報開示を行っている	①ステークホルダーの課題認識や期待に応える情報開示の促進	・Webサイトの適時更新 ・統合報告書の発行 ・ESG情報開示に対する外部評価向上	随時更新実施 発行 変動なし				

長谷工グループのCSR取り組みと関連性の深いSDGs10目標



情報開示とエンゲージメント

株主・機関投資家・アナリストとの建設的な対話

当社は、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に向けて、社長自らが出席する決算説明会の開催をはじめ、株主・機関投資家・アナリストとの対話、各種の説明会などを積極的に行っています。

また当社ウェブサイトでは、決算説明資料・統合報告書等の開示資料を英語版も含めて掲載するなど、適時かつ公平な情報開示を行っています。

2023年度の主なIR活動

項目	回数	内容
決算説明会	2	トップマネジメントが出席する決算説明会を年2回(5月/11月)実施
決算発表後ネットカンファレンス	4	四半期の決算発表日当日に年4回(5月/8月/11月/2月)実施
機関投資家面談	213	個別面談・電話取材・スモールミーティングなどを通じて、のべ213社の国内外機関投資家やセルサイド・アナリストとの面談を実施
マンション市場説明会	2	年2回(9月/3月)実施

長谷工マンションミュージアムにおけるコミュニケーション

長谷工マンションミュージアムは、長谷工グループの創業80周年記念事業の一環として、2018年に東京都多摩市にオープンしました。

集合住宅の歴史や間取りの移り変わり、マンションの設計・施工や修繕・建替えなど、マンションのあらゆることを「見て、触れて、感じて、学べる」日本で初めてのマンションミュージアムです。

地域の皆様、取引先、国内外の住宅業界に従事する方など、様々な立場の方にご来館いただいています。また、新入社員やグループ会社の研修の他、外部からの研修目的の利用が広がっ

ており、2023年度は4,157名、累計で19,674名の方にご来館いただきました。



世界と日本の集合住宅の変遷を紹介する「集合住宅の歩み」ゾーン



マンション防災コーナー

社会貢献活動

2025年日本国際博覧会「いのちの未来」館にプラチナパートナーとして協賛

長谷工グループは、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)でのテーマ事業「シグネチャーパビリオン」にて、石黒 浩テーマ事業プロデューサーがつくる「いのちの未来」館にプラチナパートナーとして協賛しています。また、長谷工コーポレーションが同館を設計協力・施工し、現物提供します。本パビリオンではテーマ事業名として「いのちを拓げる」を掲げ、50年後、1000年後のいのちの在り方を創造し、展示することで忘れがたいいのちの体験をお届けします。石黒プロデューサーが取り組まれている最先端のIT・ロボット技術を基にした人間と社会の新たな在り方「いのちの未来」を他の協賛企業とともに共創し、目指すべき人間とロボットが共存する未来社会の住環境・住まいをシグネチャーパビリオン「いのちの未来」館を通じて世界に発信していきます。

なお、設計については、石本建築事務所、設計協力 長谷工コーポレーション、施工については、長谷工グループの不二建設との共同施工(解体他、一部工事は除く)となります。



©FUTURE OF LIFE / EXPO2025